

精神科病院へのピアサポーターの介入効果 —長期入院患者アンケートからの一考察—

渡邊恵司¹⁾

1) 新潟医療福祉大学 社会福祉学科

【背景・目的】精神科病院におけるピアサポート活動は、平成 22 (2010) 年度からの地域移行・地域定着支援事業より、ピアサポーターの配置とその活動経費を計上されるようになり、ピアサポーターによる長期入院患者へのかかわりが行われ、一定の効果が得られている。平成 26 (2014) 年 7 月 14 日、厚生労働省の「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会」において「長期入院精神障害者本人に対する支援の具体的方策の方向性」として、①病院、当該地域の保健所及び市町村、外部の支援者、ピアサポーター等が協力をし、精神障害者がどのような地域生活を送っているかを実際に体験すること等を含む病院スタッフに対する研修を促進する、②入院中の精神障害者が、病棟プログラムや作業療法への参加、交流会の開催等を通して、本人の意向に沿って、ピアサポーターや外部の支援者と交流できる機会等の増加を図る、ことが方向性として取りまとめられている¹⁾。しかし、全国的な報告をみると、ピアサポーターとの協働が実施している自治体が少ない現状がある。本研究では、精神科病院へのピアサポーターの病院介入に焦点を当て、精神科病院の患者にどのような影響を与えているかを明らかにすることが目的である。

【方法】ピアサポーター^{注1)}が介入している K 市内の A 精神科病院療養病棟長期入院患者のうち、病院スタッフが選定をし、「生活体験グループ」に参加をしている 6 名 (表 1) に対して、アンケート調査を実施した。アンケート内容は、①退院に対する現在の気持ち、②退院後の不安、③退院に対して困っていること、④ピアサポーターの話を聴いての効果、⑤効果があったと思われること、⑥意欲面の変化、の 6 つの項目である。調査期間は、平成 26 年 10 月 1 日～平成 27 年 9 月 31 日である。倫理的配慮は、同志社大学倫理審査委員会で承認済み (承認番号 15043)

表 1 アンケート対象者の性別、年代、入院期間

	性別	年代	入院期間
A	女性	70代	7年
B	男性	60代	20年
C	男性	60代	40年以上
D	男性	30代	3年以上5年未満
E	男性	70代	30年以上
F	男性	60代	30年

【結果】アンケート結果は以下の通りである。

①【退院に対する現在の気持ち】

「退院したい」0名、「できれば退院したい」2名、「退院したくない」2名、「どちらとも言えない」2名であった。

②【退院後の不安】

退院後の不安については、「とても不安」1名、「不安」4名、「不安でない」2名であった。

③【退院に対して困っていること】(複数回答)

退院に対して困っていることは、「退院後の住まいが決まっていない」4名、「退院までのやる事がわからない」2名、「困っていることがない」2名、「退院する意欲がわからない」、「家族の退院に向けての同意が得られない」「退院して困った時の相談先がわからない」がそれぞれ1名ずつであった。

④【ピアサポーターの話を聴いての効果】

ピアサポーターからの話を聴き、「とてもためになった」3名、「ためになった」1名、「どちらとも言えない」2名であった。

⑤【効果があったと思われること】(複数回答)

効果があったことに対しては、「勇気づけられた」4名、「退院までに必要な準備がわかった」、「退院までの不安が減った」がそれぞれ3名、「退院後の生活がわかった」、「退院したい気持ちが高まった」がそれぞれ2名、「特に効果がなかった」1名であった。

⑥【意欲面の変化】

退院に対しての意欲の変化は、「意欲が高くなった」、「退院への意欲に変化はなかった」それぞれ3名で、「意欲が下がった」方は0名であった。

【考察】長期入院患者の中で、6名中4名の患者が「できれば退院したい」、「どちらとも言えない」と退院への「揺れる想い」を抱えている。しかし、ピアサポーターのかかわりによって、退院への意欲は高まり、退院したい気持ちへ少しずつ変化していることが考えられる。患者と同じ境遇を経験しながらも退院して生活をしているピアサポーターの語りによって、退院までのプロセスや退院後の生活を知ることができ、そのことが退院に対する不安の軽減と退院意欲の向上にも影響を与えていることが効果として考えられる。

【結論】これからの地域移行について、ピアサポーターとのさらなる協働は必要不可欠である。今回はピアサポーターが病院へ介入することの効果は患者のみに行った結果だが、患者を取り巻く専門職に対しても、ピアサポーターの介入効果を検証することも必要であろう。

注 1) 精神科病院へ入院経験のある方で、「ピアサポーター養成講座」を修了した当事者である。

【文献】

1) 厚生労働省「長期入院精神障害者の地域移行に向けた具体的方策に係る検討会取りまとめ」、平成 26 年 7 月 14 日。